

生涯学習かわら版

北信地区活動だより

～「人・つながり・地域」づくりを通じたウェルビーイングの実現～

令和5年7月21日

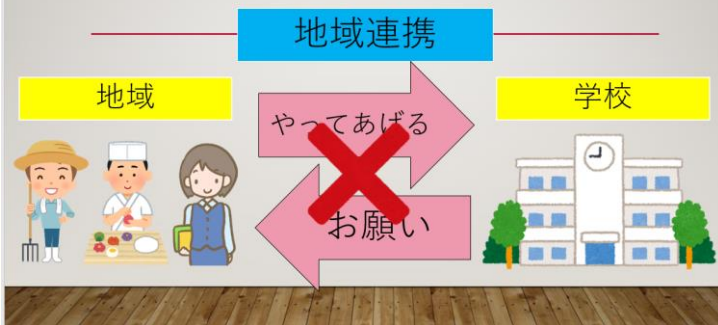
北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 菅原 勇介

北信教育事務所の生涯学習課では「社会教育」「スポーツ振興」「社会人権教育」を推進しています。今回はCS推進セミナー（学社連携・協働意見交換会）中野市、千曲市会場の様子を紹介します。

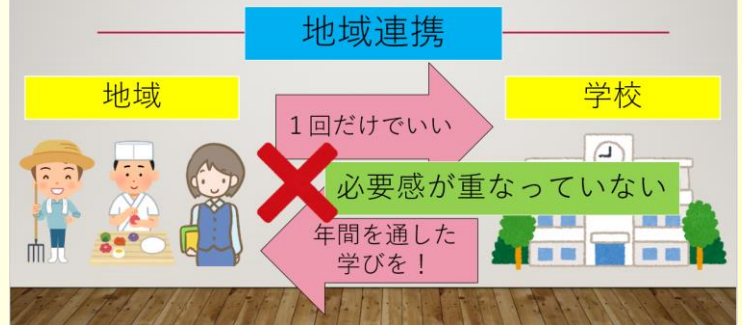
地域と子どもの必要感が重なって生み出される協働活動

6月29日（木）に北信合同庁舎で、7月13日（木）に千曲市総合教育センターでCS推進セミナーが行われました。事例発表を、「地域とつながり、共に『元気』になる協働活動～地域の必要感と生徒の意識を重ね合わせて～」と題して、長野市立若穂中学校の小林 愛さんが行い、会の後半は地域住民、学校職員、社会教育関係者、行政職員など立場を越えて編成されたグループで、意見交換を行いました。なお、今年は千曲市会場の様子をオンラインで配信も行いました。

必要感を重ねるとは？ 若穂中学校実践発表資料より



必要感を重ねるとは？ 若穂中学校実践発表資料より



必要感を重ねるとは？ 若穂中学校実践発表資料より



発表者
小林 愛さん

キーワード：「必要感を重ねる」

- ・地域と子どもの必要感が重なったときに、学校も地域も元気になり深い学びが生まれる。
- ・地域の方とビジョンを共有し、共にカリキュラムを創る。地域の方と、学校とがお互いの思いや願いを語り合い、目指す方向性を共有する。
- ・中学校では生徒会が地域連携のキープポイントかもしれない。
- ・校内コーディネーターと地域コーディネーターが子どもの願いと地域の願いをつなげる架け橋になる。

CSでも参加者同士の対話を大切に考えたい



立場を越えた意見交換

○ 参加者の声

- ・地域が入り込みやすい雰囲気ができてきていて、事例では、お互いが前向きに楽しむことを実践できているからこそ教員やコーディネーターの手を離れて自発的に新しい案が生まれてきたんだろうと感じました。
- ・まずは教員が様々な人と関わるのが大切だと感じました。
- ・子どもたちが地域とつながる場は色々あると思います。今後協議会へ参加する際、何をどう考えるのか参考になりました。

コミュニティスクールの研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡してください。ぜひ視察にも行かせてください。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当：菅原勇介

Tel:026-234-9552 E-mail: hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp

